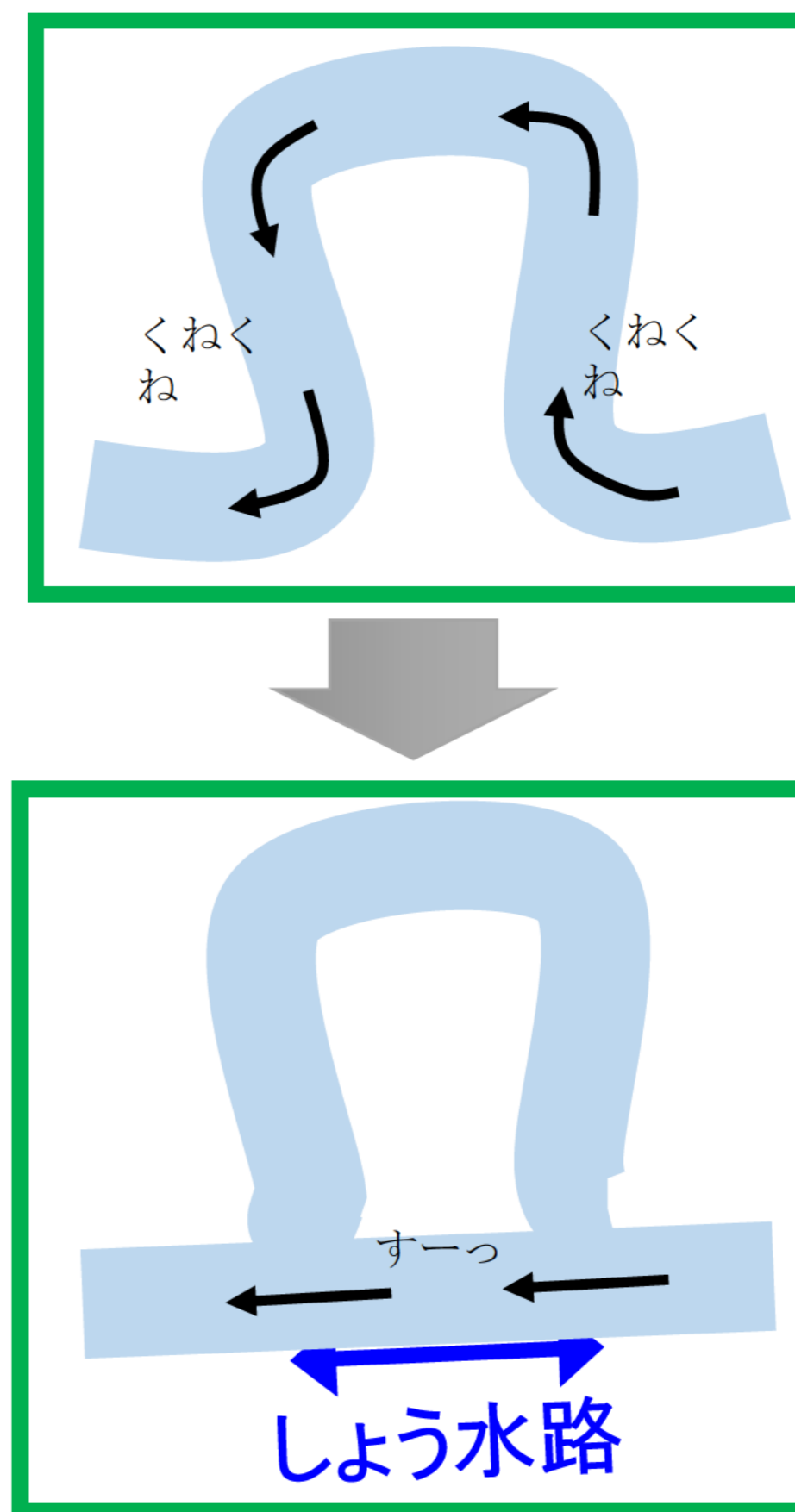
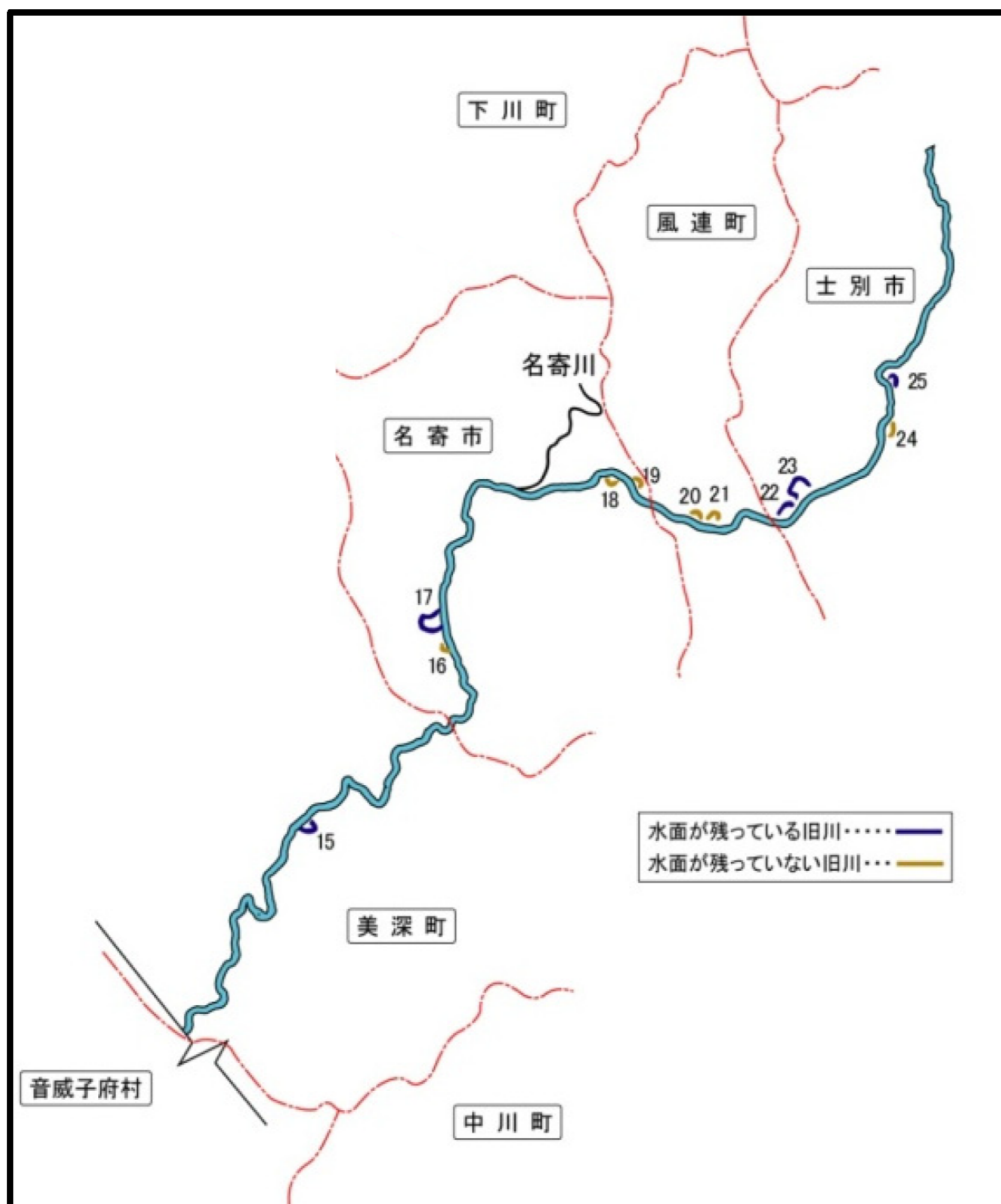


てしおがわ

天塩川のしょう水路工事

- 昔の天塩川は、曲がりくねって流れていた。そのため、水が流れるのがおそく、たくさんの雨が降ると川の水があふれて、水害を引き起こすという問題をかかえていた。
- そこで、水が流れやすいように、曲がりくねった天塩川の一部をまっすぐにしたり、川の曲がり小さくして水をはやく流す「しょう水路工事」が昭和9年～昭和54年の間に行われた。



て しお がわ

天塩川のしょう水路工事

- このような取り組みにより、天塩川による水害を減らすことができた。
- 水害が多くて人が住めなかった土地を、市街地や農地にすることができた。

しょう水路工事前のようす



しょう水路工事後のようす

